久美浜一区自治会だより

令和3年1月25日号

はい、どうもこんにちは！　新年5日目にして自分のカメラを落とし壊してしまった事務局長の島貫です。愛着のあるものが壊れるのはショックでしたが原因は自分なので、この経験を今後に活かして同じ失敗をしないように気を付けるしかないですね。
今回は、会長からみなさんへのメッセージを、裏一面使って特集しています！

◆スマホで見やすく写真もカラーで増量のWEB版はこちら

検索「久美浜一区自治会だより」でも出てきます！

◆各地区から京都府に要望していた事業が進んでいます

◇西本町 護岸工事
如意寺前から久美小方面に向かっての護岸工事です。今後の工事にご協力をお願いします。

◇栄町 交番前歩道ブロック設置
以前別の工事でガードレールが撤去された場所です。通学路でもあり歩道の安全確保のため要望し、実施につながりました。

◇久美浜公園 ベンチ修理
ベンチの板・机などが新しくなっています！天気のいい日にぜひお散歩に出かけてみてください。

◆不審火にご注意を！！

仲町区、栃谷川沿いのお地蔵さんのところで、1/13(水)に「お供えしているへだらの一部が燃える」ということがありました。区長から警察に伝え、不審火として調査してもらっています。
警察の方でも巡回を増やすなどの対応をしてもらっていますが、みなさんも、燃えるものをできるだけ外に置かないようにするなど注意をお願いします。

◆神谷太刀宮のことが、ACTV京丹後で放送されます

◇神谷太刀宮の歴史や行事

放送日時：2/1(月)～2/15(月)午前9時30分、午前11時30分、午後2時30分からの15分間
「歴史街道」という番組で、佐治宮司により紹介されます。
氏神さまを知ることになりますので、ぜひご覧ください。

◇神谷神社・磐座

放送日時：1/30(土)～2/5(金)午前10時～11時30分、午後4時～5時30分の1時間30分の間
「シナリオづくり講座」という番組の中の一部で、十楽の田中健而さんが「磐座は天然の天文台」としてお話しされます。
磐座の歴史などがわかりますので、ぜひご覧ください。

◆直近の予定

◇子育てサロン

2月はお休みで、3月から再開予定です。
詳細は次回の自治会だよりでお伝えします。

谷口会長

今回、一区を盛り上げるためにみなさんのお力をお借りしたく、このように載せました。これだけでは一区の課題を解決できるわけではないですが、少しの力の積み重ねが大きな力になりますので、ご協力をお願いします。

自治会長として今後も、役員・関係団体と共に課題対応や魅力発信に取り組むことで、「一区に住みたい、住み続けたい」と感じる方が増えれば、と思っています。

◆久美浜の経済とあたたかさを作れるのは久美浜に住んでる人達です

お買い物の際にはぜひ地元のお店を利用してほしいです！というお話です。

◇便利さと引き換えに失われたもの

久美浜商店街は、明治後期には多くの店が並んでいましたが、時代が進むにつれお店の数が減っているのは、みなさんご存じの通りです。

そこには大型店の発展や自動車による生活範囲の拡大など、時代の変化に伴うものも多くあります。便利になり得られたものも数多くありますが、地元商店が支えていたたくさんの「お金では簡単に買えないもの」が失われていきました。

◇お金では簡単に買えないもの

それは「地域のつながり・子供達の安全などの役割」と「地元経済の活性」です。

・地域のつながり・子供達の安全などの役割が今求められています。

時代の変化とともに、子供にとっては「地元に住んでる知り合いのおっちゃんおばちゃん」の関係ができにくくなり、大人にとっては「異世代(子供達)、普段縁がない方との関わり」が難しくなりました。

地域のつながりは一区の強みでもあり、「一区のいいところは？」と聞くと多くの方が「人同士のあたたかさ、つながり」と答えてくださります。地元に戻ってくる若者からも「あたたかさ」という言葉はよく聞きます。

そしてこれらは、時が経ち失われたものの、多くの場所でその必要性が問われているもの、でもあります。

・地元経済の活性を起こすため。

大型店には大型店のよさがあり、個人商店には個人商店のよさがあります。そして、その個人商店が久美浜の賑わいと雇用を作っていたのも事実です。

大型店でも地元の商品は販売され雇用も生まれていますが、そのお金は地元以外にも多く回ります。地元商店で買い物するとそれらは地元内で回ります。皆さんが買い物するうちの１％を地元商店で行うと、３人の雇用が生まれるという試算もあります。

◇毎回じゃなくてもいいんです。
10回町外で買い物するうちの1回、地元商店を利用してほしい。

日常生活は、みなさんの安定した生活があってこそ成り立っています。昔とは生活様式も活動時間帯も異なるので、「仕事帰りに寄りやすいお店」「なんでも買える所」で買い物を一度にすませたいものです。その場合、毎回地元商店でお買い物というのは難しいのも当然です。

ですので、町外で10回買い物するうちの1回でかまいません。お時間のある時に、地元商店でお買い物をしてください。それが、失われたものをもう一度生み出す第一歩につながります。

そしてなにより、みなさんが一生懸命稼いだお金は地元で動き、地元の生産者・雇用者へ流れます。みなさんの少しずつが大きな力となり、将来の久美浜の賑わい、地域づくり、住む人々にとっての好影響にもつながると考えています。

発行責任者：久美浜一区自治会　会長　谷口　潔　　**事務所：**久美浜福祉センター
編　集　者：　事務局長　島貫雄介　　**電　話：**82-1980